

御来屋～船上山 後醍醐天皇・太平記ウォーク



▲ガイドの説明を熱心に聴く参加者

4月17日、後醍醐天皇の足跡をたどる「後醍醐天皇・太平記ウォーク」が大山町から琴浦町にかけて行われました。

午前のコースは御来屋駅を出発して海沿いに歩き、お腰掛けの岩、元弘帝御着船所の碑、名和公一族郎党の墓など後醍醐天皇にゆかりがある大山町内の史跡を巡りました。昼食に御来屋特産の板わかめをまぶした「みかど飯」や「さわら飯」のおにぎりを食べた後、午後からは琴浦町に移動し船上山のコースを目指しました。時折、桜の花びらが風に舞い、参加者50人は気が風にならぬよう活躍されました。

住雲寺で

「藤まつり」

『ふじ寺』の名で親しまれている住雲寺で、5月3日～5日の3日間、恒例の「藤まつり」が行われました。

初日の3日には先着の300人に「藤もち」が配られ、入り口にはたくさんの方の列ができました。この期間中は天気にも恵まれ、藤棚の下でお茶席や箏の演奏など、藤まつりを盛り上げるイベントが催され、連休を楽しむ人でにぎわいました。

4月の低温で開花が遅れ、今年の見頃は5月中旬となりました。



▲藤もちが配られました（5月3日）

被災地の子どもたちに役立てて

～子育て中のママが奮闘！～



▲チャリティーフリーマーケットの様子

「今、自分たちができることをやろう」と大山町内に5つある子育てサークルが企画した『東日本大震災チャリティーフリーマーケット』が4月24日（日）に行われました。

この日、会場となった保健福祉センターには、たくさんの方の親子連れが集まりました。中でも子ども服やおもちゃ、ヘアアクセサリーなど手作り雑貨のコーナーは来場者に大人気で、掘り出し物を探そうと、みなさん真剣な表情でした。会場ではリサイクル品だけでなく、手作りパンやお茶のコーナー、アロママツサー、カラーセラピーなど体験コーナーもあり、子育て真っ最中のお母さんたちに好評でした。

フリーマーケットの売り上げは被災地の子どもたちに役立ててもらおう計画とのこと。今回の企画の立案者のひとり、子育てサークルエコママの代表、天島喜久子さんは「準備期間が短かったが、みんなの協力でフリーマーケットを開くことができてよかった」と感想を話されました。